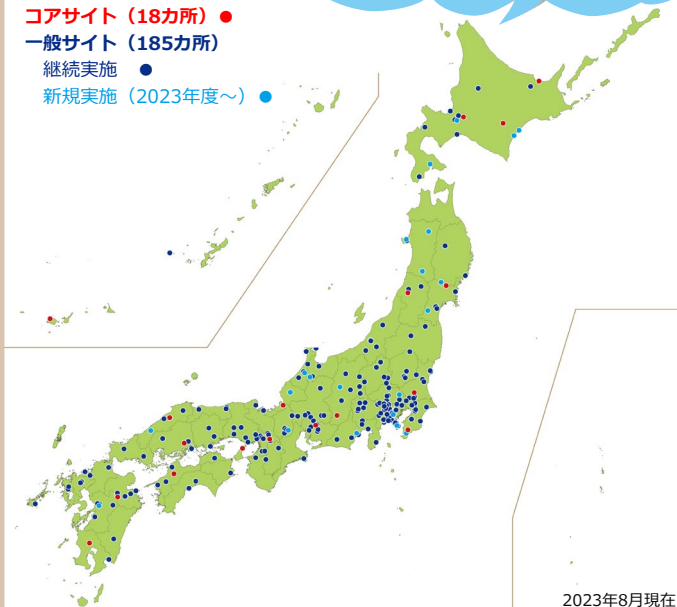


調査サイト

調査サイトは全国に約200カ所。
今日もきっとどこかで調査がされています。

コアサイト (18カ所) ●
一般サイト (185カ所)
継続実施 ●
新規実施 (2023年度～) ●



2023年8月現在

調査に参加するには？

近くのサイトで調査に参加したい

HPに掲載しているサイト一覧で、調査員を一般募集しているサイトがわかります。直接団体にお問い合わせいただくか、里地調査事務局までご連絡ください。



自分の地域でも調査をしたい

調査マニュアルや記録用紙をHPで公開しています。調査講習会の動画も視聴可能です。

環境省のモニ1000サイトとして登録して欲しい

一般サイトでは、5年ごとにサイトの見直しを行い、その際にサイトの追加募集を行う予定です。次回は2027年度を検討しています。



詳細はHPをご覧ください。

<https://www.nacsj.or.jp/activities/guardians/moni1000/>



モニタリングサイト1000について

「第二次生物多様性国家戦略」に基づき、環境省生物多様性センターが2003年度から開始した事業です。全国約1000カ所に調査サイトを設定し、動植物の生育生息状況などを100年にわたり同じ方法で調べ続けることで、生態系の変化をいち早く把握することを目的としています。約1000カ所のサイトは生態系タイプごと（森林・草原・湖沼・湿地、サンゴ礁など）に分けられており、里地里山もそのひとつです。

<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>

日本自然保護協会とは？

1949年、日本自然保護協会はダムの底に沈もうとしていた尾瀬を守るために発足した環境NGOです。以来70年、自立的と独立性をもち、自然観察指導員の育成や、市民による自然環境調査の普及など自然を尊重できる社会づくりの提案と実践に取り組んでいます。

<https://www.nacsj.or.jp/>



(公財) 日本自然保護協会 モニタリングサイト1000里地調査事務局

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F

MAIL: moni1000satochi@nacsj.or.jp

TEL: 03-3553-4101

発行（第4版）：2023年8月

モニ1000里地

検索



モニタリング サイト1000 里地調査



生物多様性センター
Biodiversity Center of Japan

日本自然保護協会

写真：オオルリ(長友 逸郎) 乾谷(安長 義高) このパンフレットは再生紙を使用しています

舞台は里山。 市民が主役の調査です！

「里山」は、水田耕作や林業、放牧などの人による伝統的な営みによって、長い年月をかけて築き上げられてきました。

そこには変化に富んだ環境が形成され、多様な動植物のすみかとなっています。しかし近年、さまざまな要因により、里山とそこで育まれる生物多様性は急速に変化しています。

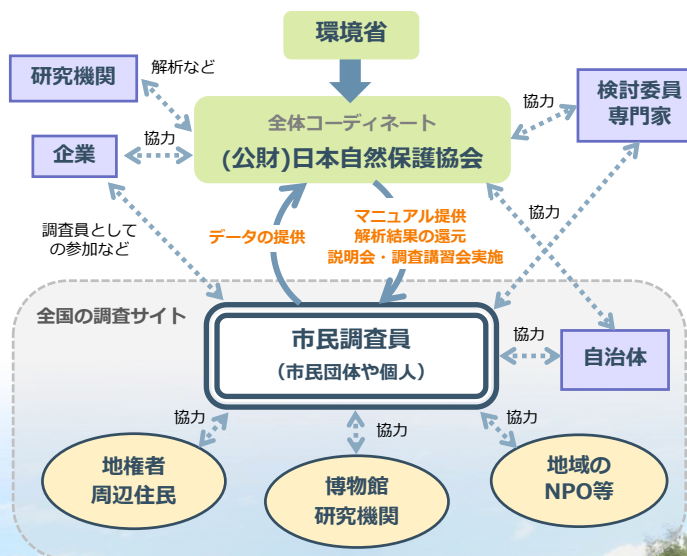
こうした里山の変化をいち早くとらえ、
保全に活かしていくことを目指したプロジェクトが
「モニタリングサイト1000里地調査」です。

里山の多くは私有地のため、一部の専門家や行政だけの調査は難しいといわれてきました。一方で各地域には、地元の方と丁寧に関係をつくり、誰よりもその地に愛着を持つ「市民」の皆さんがいます。こうした市民の皆さんの目をつなぎあわせることで、里地調査はスタートしました。

身近な自然を知り、記録し、
残していくために。
里地調査にご協力ください。

調査実施体制

全国約200カ所の調査サイトでは、市民調査員の皆さんが主体となって地権者の方とのやり取りや調査の実施、調査サイトの周辺住民や関係者への調査成果の還元などをされています。全体をコーディネートする事務局は、2004年から日本自然保護協会が担い、環境省と連携しながらプロジェクトを運営しています。調査の実施や調査結果の活用のために、国立環境研究所などの研究機関や企業、各地域の関係者の皆さんと連携し、「市民」が自ら地域の自然を守る体制づくりを目指しています。



調査内容

水田・草原・森林など多様な環境が入り混じる里山の生態系の変化を把握するために、8項目の調査を実施しています。

調査項目	調査手法	調査期間・頻度
植物相	 調査ルート上の植物の 種名 を記録	毎月1回
鳥類	 調査ルート上の 種名・個体数 を記録	繁殖期・越冬期に各6回
中・大型哺乳類	 自動撮影カメラにより 種名・撮影頻度 を記録	春～秋にカメラを設置
カヤネズミ	 調査区画内の 巣の有無 と環境条件を記録	初夏と秋の年2回
カエル類	 アカガエル類の 卵塊数 と環境条件を記録	産卵期間中（冬）2週に1回程度
チョウ類	 調査ルート上の 種名・個体数 を記録	春～秋に月2回
ホタル類	 成虫の 個体数 と環境条件を記録	発生ピークまで7～10日に一度
植生図	 相観植生図 を作成	5年に1回

それぞれの調査マニュアルや調査記録用紙は里地調査のHPで公開しています
<https://www.nacsj.or.jp/activities/guardians/moni1000/howto/>